

第79期

# 中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日



池田町大峰高原の大力エデ

## 株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第79期第2四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。当期間におけるわが国経済は、3月末までに一旦回復するかに見えた日経平均株価も、ユーロ圏諸国での経済危機の再燃から4月以降再び下落する展開となり、国内政治の不安定感も相まって引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要事業でありますエネルギー業界におきましては、太陽光等再生可能エネルギーによる電力の固定買取制度の決定に伴い、新規の投資案件も一気に盛り上がる気配を見せるなど、脱原発への対応から新たなビジネスの可能性を予感させる展開となりましたが、国のエネルギー政策について引き続き注視していく必要があります。

このような状況のもと当社グループは、単一のエネルギーに依存しない「エネルギーのベストミックス」の一層の訴求に努め、環境負荷の少ないガス体エネルギーであるLPガスや太陽光発電等の再生可能エネルギーを含めたトータルな提案営業を積極的に行い、エネルギー利用の高効率化を推進する一方、徹底したコスト削減と適正利益の確保に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、4月から株式会社一実屋を連結対象としたことや、仕入価格の変動に連動した販売価格の見直し等により、売上高は134億60百万円(前年同期比6.9%増)となりましたが、棚卸価格差の売上原価への影響や退職給付債務の増加等により、経常利益は276百万円(前年同期比19.3%減)となりました。また、税金費用を控除した純利益は113百万円(同26.8%減)となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



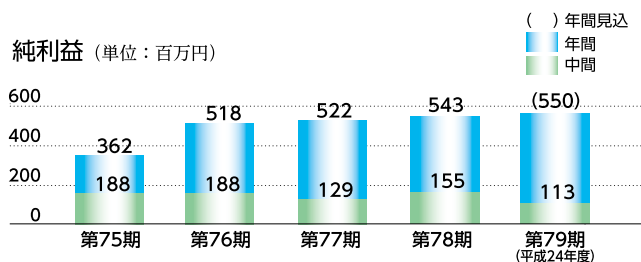
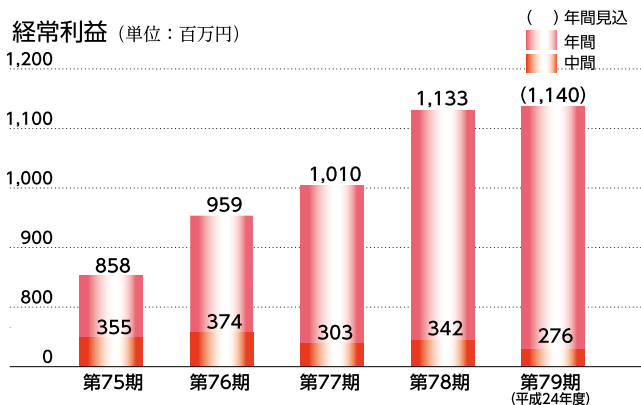
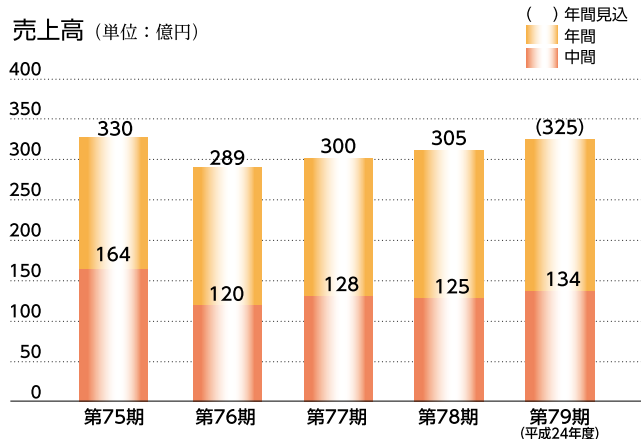
代表取締役社長

柳澤 勝久

平成24年12月

# 営業の概況(連結)

## ■財務ハイライト



石油事業におきましては、景気低迷の影響による需要の減退および低燃費車の増加等を受けて、業者間の廉売競争がさらに熾烈化し、利益確保がますます厳しい状況で推移いたしました。この中で当社グループは、価格競争力と顧客サービスの向上を図りながら、販売数量の確保に努めました。

LPガス事業におきましては、3月に史上最高値を記録したLPガスのCP価格が7月までは値下がりしましたが、8月以降は再び値上がり傾向に転じました。その中で当社は販売店と一体となったキャンペーンを実施することにより、販売数量の確保に努めるとともに、バルク供給化を引き続き推進してまいりました。

リフォーム事業では、社内で提案営業力アップを図るための研修や訓練を行い、よりお客様の立場に立ったトータルな営業提案を行ってまいりました。

また、環境事業におきましては、一層巨大な市場となっている太陽光発電システムの拡販に努めるとともに、産業用発電システムによる売電事業にも参入を開始いたしました。

一方、当社事業の基本であります「LPガス消費者保安」につきましては、自己完結型の自主保安体制強化に引き続き努めており、高度保安実施事業者としての「液化石油ガス認定販売事業者」の地位を堅持しております。

# 財務指標

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)  
前 期 末 (平成24年3月31日現在)

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	当第2四半期末	前期末	当第2四半期末	前期末
<b>資産の部</b>				
<b>流動資産</b>	<b>9,793</b>	<b>10,572</b>	<b>6,284</b>	<b>6,489</b>
現金及び預金	5,001	4,573	2,405	2,724
受取手形及び売掛金	2,756	4,058	3,046	2,611
商品及び製品	1,408	1,404	95	71
仕掛品	64	48	0	0
原材料及び貯蔵品	319	168	62	359
繰延税金資産	119	156	170	233
その他	132	171	503	488
貸倒引当金	△9	△8		
<b>固定資産</b>	<b>11,761</b>	<b>11,387</b>	<b>1,412</b>	<b>1,532</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>8,420</b>	<b>8,135</b>		
<b>無形固定資産</b>	<b>262</b>	<b>233</b>		
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,078</b>	<b>3,018</b>		
投資有価証券	2,366	2,328		
繰延税金資産	303	342		
差入保証金	254	222		
その他	221	174		
貸倒引当金	△67	△48		
<b>負債の部</b>				
<b>流動負債</b>				
支払手形及び買掛金			2,405	2,724
短期借入金			3,046	2,611
1年内返済予定の長期借入金			95	71
リース債務			0	0
未払法人税等			62	359
賞与引当金			170	233
その他			503	488
<b>固定負債</b>			<b>1,412</b>	<b>1,532</b>
長期借入金			144	160
退職給付引当金			869	834
役員退職慰労引当金			123	247
リース債務			2	1
資産除去債務			23	22
繰延税金負債			68	80
その他			181	184
<b>負債合計</b>			<b>7,696</b>	<b>8,022</b>
<b>純資産の部</b>				
<b>株主資本</b>			<b>13,700</b>	<b>13,808</b>
資本金			1,512	1,512
資本剰余金			1,248	1,248
利益剰余金			10,979	11,086
自己株式			△40	△40
<b>その他の包括利益累計額</b>			<b>131</b>	<b>102</b>
その他有価証券評価差額金			131	102
<b>少数株主持分</b>			<b>26</b>	<b>27</b>
<b>純資産合計</b>			<b>13,858</b>	<b>13,937</b>
<b>負債純資産合計</b>			<b>21,555</b>	<b>21,959</b>
<b>資産合計</b>	<b>21,555</b>	<b>21,959</b>		

# 財務指標

## 四半期連結損益計算書(要旨) (第2四半期連結累計期間)

当第2四半期累計期間 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)  
前第2四半期累計期間 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
売上高	13,460	12,590
売上原価	10,436	9,646
売上総利益	3,023	2,944
販売費及び一般管理費	2,858	2,685
<b>営業利益</b>	<b>165</b>	<b>259</b>
営業外収益	127	98
営業外費用	16	15
<b>経常利益</b>	<b>276</b>	<b>342</b>
特別利益	9	50
特別損失	50	80
税金等調整前四半期純利益	235	312
法人税等	121	157
少数株主損益調整前四半期純利益	113	155
少数株主損失	△0	△0
<b>四半期純利益</b>	<b>113</b>	<b>155</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当第2四半期累計期間 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)  
前第2四半期累計期間 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	780	736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△203	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	70	△259
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,486	2,509

## トピックス

### ◆産業用発電事業に本格参入

環境に優しい再生可能エネルギーとして太陽光発電への需要がより一層拡大しているなかで、発電した電力の固定価格買取制度が7月から始まりました。

これを受けて当社でも産業用発電システムの導入検討を進め、記念すべき第1号としてこのたび新築した佐久平支店の屋上に発電システムを設置いたしました。設置したパネルは252枚で、発電能力は49.14kWになっております。

(ちなみに写真後方は浅間山です)



### ◆小諸・佐久支店を統合し佐久平支店を新築移転

かねてより小諸・佐久両支店を統合して新しい店舗を造りたいと希望しておりましたが、このたび小諸市御影新田和田原地籍に適地が見つかり、春先から土地の造成ならびに建物の建設を進め、10月末に竣工の運びとなり、「佐久平支店」と命名いたしました。

所在地は中部横断自動車道の佐久北インターのすぐ近くで、面積は1万平方メートル以上ありますので、この地域における当社のエネルギー供給の大型拠点として、お客様のお役にたてるものと確信しております。



### ◆オフセットクレジット制度を通じて地球環境の保全に貢献

長野県では小海町にある県有林の整備による二酸化炭素吸収量について、環境省からオフセットクレジット制度の認証を受けました。

当社はこの趣旨に賛同し、現在までに20tのクレジットを購入することにより、CO<sub>2</sub>削減に貢献いたしました。

これからもサンリンは地球環境の保全に努めてまいります。



## 株式の状況

(平成24年9月30日現在)

### ■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	1,000株
④ 株主数	702名

### ■上位株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社ミツロコグループホールディングス	1,676	13.6
リンナイ株式会社	712	5.8
等々力正敏	614	5.0
株式会社八十二銀行	575	4.7
東燃ゼネラル石油株式会社	500	4.1
株式会社長野銀行	458	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	352	2.9
須澤孝雄	346	2.8
曾根原充夫	331	2.7
曾根原かつ江	323	2.6

(注) 出資比率は、自己株式16千株を控除して計算しております。

### ■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(千株)	出資比率(%)
個人・その他	6,763	55.0
金融機関	1,983	16.1
その他の国内法人	3,532	28.7
自己名義株式	16	0.1
その他	5	0.0

## 会社の概要

(平成24年9月30日現在)

- 社名／サンリン株式会社
- 設立／昭和9年12月19日
- 資本金／15億1,280万円
- 従業員数／488名(グループ人員)
- 事業の内容／石油製品、LPガス、一般高圧ガスおよび住設機器の販売、煉炭・豆炭の製造販売

### ■役員状況

代表取締役社長	柳澤勝久
専務取締役	川窪磯男
常務取締役	寺澤久水
常務取締役	大槻清人
取締役	田島晃規
取締役	塩原木誠
取締役	須澤孝充
取締役	高野朗夫
常勤監査役	坂内富夫
常勤監査役	川岸隆
監査役	山根伸右(社外監査役)
監査役	神澤正哲(社外監査役)

### ■子会社等

三鱗運送株式会社  
ウロコ興業株式会社  
富山サンリン株式会社  
サンエネック株式会社  
上伊那ガス燃料株式会社  
サンリン松本エネルギー株式会社  
田中製氷冷凍株式会社  
株式会社一実屋  
新潟サンリン株式会社

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日（ただし、中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所 公告の方法	大阪証券取引所JASDAQ市場 電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sanrinkk.co.jp/">http://www.sanrinkk.co.jp/</a> （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

## 【お 知 ら せ】

### 株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合せください。
- (4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 営業拠点

